

日野川地区水道用水供給事業の経緯

- 昭和 34 年 県は、日野川総合開発を目的とした各種調査に着手しました。
- 昭和 42 年 4 月 県、市町が要望していた広野ダム建設事業の実施計画調査が採択されました。
- 昭和 48 年 7 月 県内の大旱魃発生につき、日野川水系総合開発促進協議会の総会において大旱魃に対処するための日野川第 2 水源地の建議があり、調査を要請することが決議されました。
- 昭和 49 年 9 月 国土総合開発事業調整費調査（旱魃対策 4,370 千円）が認められ県は、調査に着手しました。
- 昭和 50 年 4 月 県は、単独予算で日野川第 2 水源調査を実施しました。
- 昭和 52 年 7 月 武生・鯖江地区広域市町村圏広域組合は、水道用水供給事業主体を県営で実施するように陳情しました。
- 年 9 月 2 市 4 町が、福井県に対して、責任受水量、受水地点の申込みをしました。
- 昭和 53 年 6 月 市議会定例会において、日野川水系水資源対策特別委員会委員長から中間報告がなされました。
- ・水不足を来たしている近隣市町村と提携し日野川水資源対策事業を推進し、武生・鯖江地区広域圏の発展協調を図るという点については、了承する。
 - ・日野川の利水計画及び灌漑事業に伴う受益者負担については、理事者と協議を重ね調査、研究を行う。
- 6 月 県に対して責任受水量の申し込みを実施しました。
- ・武生市 20,000 m³/日 鯖江市 20,000 m³/日 今立町 5,000 m³/日
南条町 1,600 m³/日 朝日町 1,800 m³/日 清水町 3,500 m³/日
- 6 月 県は、総事業費 1 2 4 億円、水価 m³ 1 1 3 円の試算を提示しました。
- 7 月 県は、国営日野川地区に対して、上水 51,000 m³/日、工水 85,000 m³/日、参加の意思表示を行ないました。
- 7 月 武生市他 7 市町において 21 日間無降水となる旱魃の発生により、断減水給水制限を実施しました。
- 11 月 北陸農政局が作成した「国営かんがい排水事業日野川用水地区」事業構相における水道用水供給事業の概算事業費では、m³当たり 113 円の試算がなされました。
- 昭和 57 年 3 月 市議会定例会において、県の「南越地域広域的水道整備計画」について同意の決議が、関係市町の議会でなされました。
- 水道整備計画では、総事業費 2 1 2 億円、試算水価 1 3 7 円/m³ が提示されております。
- なお、武生市議会の定例会では、県水の単価、市の負担、受水計画、需要

家の負担など質疑がなされました。

昭和 57 年 3 月 北陸農政局と県の間で、国営日野川用水土地改良事業と水道用水供給事業の実施に関する覚書が締結されました。

12 月 県議会で、南越地区広域水道整備計画が同意されました。

また併せて日量 51,900 m³とした、日野川地区水道用水供給事業の設置条例が可決され、制定されました。

昭和 58 年 1 月 県は、国に対して、日野川地区水道用水供給事業経営認可申請を行ないました。(給水単価試算では、137 円/m³となっております。)

2 月 国営日野川用水事業(北陸農政局長)と県(知事)が行う上工水の開発事業の共同実施について協定が締結されました。

5 月 県内で 2 5 日間無降水となる旱魃が発生しました。

平成 2 年 12 月 国、県など関係機関は農水、上水、工水、治水の共同事業実施に関する協定を締結しました。

平成 7 年 3 月 2 市 4 町は県に対して、責任受水量、受水地点の申込みをしました。その際、受水量年次計画 5 年を 8 ヶ年に延伸を要望しました。その他、武生市では、1 点受水を 2 点受水に、鯖江市は年度ごとの受水量の変更を(初年度 15,000m³/日 3,000m³/日)、清水町は全体受水量の変更を(3,100 m³/日 3,500 m³/日)、南条町は、1 点受水を 2 点受水にそれぞれ変更要望しました。受水開始予定は平成 1 6 年度とされました。

(武生市年次ごと受水量)

H16 年	H17 年	H18 年	H19 年	H20 年	H21 年	H22 年	H23 年
5,000	7,500	10,000	12,000	14,000	16,000	18,000	20,000

8 月 全体計画(基本計画)の改定がなされ、共同事業全体事業費は 685 億円と改定提示されました。

平成 13 年 5 月 受水開始時期が平成 16 年から平成 18 年に変更になりました。

10 月 浄水場建設に伴う地元要望により日野川水道用水供給事業促進協議会が設立されました。(役員の選任、市町負担金が明示されました。)

11 月 平成 4 年 3 月に締結した農水・上水・工水・治水・の共同事業実施に関する事業概算額の変更を含んだ変更協定書を締結しました。

・事業費概算額 (60,000,000 千円を 117,000,000 千円)

・共同事業の完成(平成 1 6 年 3 月 3 1 日から平成 1 8 年 3 月 3 1 日)

・配水施設(門間頭首工を八乙女頭首工)

平成 14 年 12 月 処理方式の選定、水価及び事業変更認可の協議がなされました。

全体事業費	1,170 億円
アロケーション	16.1 %
共同事業費	189 億円
専用施設事業費	315 億円
利息その他	19 億円
合 計	523 億円
試算水価	135 円/m ³

平成 15 年 5 月 県より日野川国営事業費 97 億の増高し、総事業費 1,267 億円の見込みで、水価が m³ 2 円程度のアップする試算が示されました。

7 月 武生市では、第 5 次拡張事業認可に向けて国（厚生労働省）に申請し、ヒアリングが開始されました。

平成 16 年 2 月 日野川水系総合開発事業水価対策協議会総会を開催しました。併せて同月水価軽減に向け、県への陳情要望を実施しました。

3 月 関係市町で水価 1 3 5 円/m³ 時の算出方法及び今後の対応について協議しました。また、県に対して、水道料金検討委員会の設立を要望しました。

4 月 2 市 4 町及び県職員による第 1 回料金検討委員会が開催されました。5 月には、算定期間を 3 段階にした場合の平均単価を提示しました。

【水価試算】

	県水の水価（税込み）
H18～H22（5 年間）	108 円/m ³ （113 円/m ³ ）
H23～H27（5 年間）	115 円/m ³ （121 円/m ³ ）
H28～H32（5 年間）	121 円/m ³ （127 円/m ³ ）

平成 17 年 2 月 県より、再試算が提示されました。

全体事業費	H16.4 月試算時	H17.1 月試算時
共同事業負担金	2 0 1 億円	2 0 1 億円
専用施設費	2 7 9 億円	2 4 8 億円
建設利息等	1 9 億円	2 2 億円
合 計	4 9 9 億円	4 7 1 億円
水 価	1 1 6 円/m ³	1 1 3 円/m ³

平成 17 年 3 月 武生市第 5 次拡張事業が、国から認可されました。

6 月 日野川水系総合開発事業水価対策協議会役員会で、水価 1 1 3 円/m³（税抜き）の受入が了承されました。

10月 武生市、今立町の合併により越前市が誕生し、今立町の水道事業を譲受し統合されました。

12月 県と鯖江市、越前市、南越前町、越前町、清水町が水道用水供給事業に関する協定を締結しました。

・受水計画、責任受水量、水道用水料金 113円/m³(税抜き)等
越前市の年次受水量は、下記のとおりです。

18年度	7,000 m ³	19年度	10,000 m ³	20年度	13,000 m ³
21年度	15,500 m ³	22年度	17,500 m ³	23年度	20,000 m ³
24年度	22,500 m ³	25年度	25,000 m ³		

平成18年10月 日野川地区水道管理事務所が越前市大塩町に開設されました。

越前市県水受水計画等について

平成18年12月 受水市町へ水道用水の供給が開始され、越前市においても日量7,000 m³の受け入れが始まりました。(受水費用 25,000千円/月)

県水受水を受け、このたび水価の見直し作業に入るものです。

(西谷配水池 4,000 m³ 今立配水池 3,000 m³ 単価 113円/m³)

平成19年4月 19年度からは、日量10,000 m³に増量
受水費用として、年間約4億1千2百万円

平成20年4月 20年度からは、日量13,000 m³に増量
受水費用として、年間約5億3千6百万円

平成21年4月 21年度からは、日量15,500 m³に増量
受水費用として、年間約6億3千9百万円

平成21年10月 3市2町で県水供給単価引き下げについての要請行動展開のための連絡会設置

平成21年12月 県水供給単価低減の要望(第1回)

平成22年1月 県水供給単価低減の要望(第2回)

平成22年4月 22年度からは、日量17,500 m³に増量
受水費用として、年間約7億2千1百万円

平成22年7月 日野川地区水道用水供給事業連絡協議会(第1回料金検討会)

平成22年8月 日野川地区水道用水供給事業連絡協議会(第2回料金検討会)

平成23年4月 23年度からは、日量20,000 m³に増量予定

平成24年4月 24年度からは、日量22,500 m³に増量予定

平成25年4月 25年度からは、日量25,000 m³に増量予定